

令和 2年度 さいたま市立宮前中学校 学校関係者評価書

さいたま市立宮前中学校

学校関係者評価委員長 吉本 博一



1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数 15名

(2) 実施回数 2回 (令和2年10月23日(金)、令和3年2月1日(月))

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

○学校の役割について

- 1 通学路の暗い場所は、教員が立哨指導するか防犯カメラの設置をお願いしたい。
- 2 学校安心メールで配信した不審者情報等について、情報発信するだけでなく結果も知らせてほしい。
- 3 学校生活について、メールなどでの相談窓口を設置してもらえると、より相談しやすくなる。
- 4 体育祭や合唱コンクールなどの生徒の活躍を地域に発信してほしい。
- 5 農業体験や学校での災害時宿泊体験、子どもリーダー研修などを実施し、子どもに生きる力をつけてほしい。

○家庭の役割について

- 1 交通ルール、特に自転車の乗り方や歩きスマホなどについては、家庭でも指導を繰り返しお願いしたい。
- 2 学校、地域と連携し、挨拶を大切にしていきたい。
- 3 保護者の人材バンクを活用し、保護者の授業ボランティアや講師依頼ができるとうい。

○地域の役割について

- 1 地域の緑化活動や美化活動を継続して実施してほしい。
- 2 今年は避難場所開設訓練に生徒、教員を派遣していただいた。災害が起き、避難所が開設された時には、物資の運搬など中学生の力を大いに利用したい。
- 3 地域行事に生徒を積極的に参加させてほしい。地域への所属意識を高めさせたい。ふるさとを大切にすることを育てていきたい。
- 4 地域の盆踊りにダンスを入れて、中学生が参加しやすいように工夫をしたい。
- 5 NPO法人などと連携し、地域学習塾を開設できたら、生徒の学力向上の一助になると思う。

学校関係者評価を受けた学校の対応

○学校の役割について

1は、教育委員会と連携し対応したい。2については、要望に応じていきたい。3については、よいことであると考え、人員の都合もあり検討していく。4については、小学校や地域に学校を公開し参観していただいている。合唱は会場が体育館ということで、小学校6年生の児童・保護者に限定している。5は、学校目標の実現に向けて素晴らしい取組であるので、実施方法を検討したい。

○家庭の役割について

全ての項目において、生徒の健全な成長に必要なことなので、継続して取り組んでいく。3については、人材バンク名簿などの整備が必要なので、来年度以降実施を検討したい。

○地域の役割について

1、2については、来年度以降も取組を実施していく。3、4、5については、地域主導でお願いしたい。可能な限り協力したい。5については、学校の関わり方について課題がある。

さいたま市立宮前中学校長 大木 克己

